

2022年1月15日（土） 阿弥陀岳中央稜～ラッセル・ロープワーク訓練～

メンバー：L 谷内、若奈、岩田（記録）

ラッセル・ロープワーク訓練を計画していただきました。例年のない積雪、直近の降雪でトレースのない中、思いのほか厳しい訓練となりました。久々に次の日まで筋肉痛が残るきつい山行でしたが、これまでの自分の判断では絶対にあきらめてしまうような急勾配・積雪量でも前に進めるということが分かり、得るものが多い訓練でした。

朝 5:50 船山十字路、気温はマイナス 15 度くらいか。寒い中、中央稜取りつきまで平坦な道を進む。先行者は 1 名いたが、御小屋尾根方面へ向かったため、南稜・中央稜方面は先行者なし。

中央稜取りつきで積雪量 30cm 程度。ここから先はトレース無し。ワカンに履き替える。ここからのひと登りが急登ということで、気合を入れるが、柔らかい新雪と急登で思うように進まない。先頭の谷内さんはどンドン進むが、私は四苦八苦しながら登る。すぐにストックでは無理となり、ピッケルに持ち替える。雪の急登はピッケルだと登りやすいと実感。途中先頭を変わってもらい、ラッセル訓練。雪の量はまだここは序の口でした。

キツかったのは第一岩壁下の登り。樹林も疎になり、腰あたりまでの積雪の急登。自分一人なら間違いなく引き返す状況でもラッセルで進めることが分かりました。

第一岩壁基部からのトラバースでは、凍結の上の新雪がのるすべりやすい箇所があり、訓練を兼ねてロープを出していただく。ワカンを外し、ハーネスを着け、アイゼンを装着。トップで谷内さんがルートを作り、フィックスロープにプルージックで私が続く。そして若奈さんがロープを回収。2 ピッチ目は若奈さんトップでラッセルにてルート構築。ここが最大のラッセルだったか。（写真 1）お疲れ様です。3 ピッチ目は再び谷内さんがトップで岩壁脇を進む。（写真 2）その後、ビレイデバイスをういたり、肩がらみでのビレイ体験をさせていただきながら、第一岩壁を巻いたところで 13:00 行動終了とする。（写真 3）

下りは苦勞して付けたトレースを一気に下りて、登り 7 時間、下り 2 時間の山行終了。訓練山行ありがとうございました。

【コースタイム】

写真 1

船山十字路	5 : 5 0
中央稜取りつき	7 : 2 0
第一岩壁基部	1 1 : 3 0
終了点	1 3 : 0 0
中央稜取りつき	1 4 : 4 5
船山十字路	1 5 : 4 0



写真2



写真3

